

令和 5 年度 砂防学分野 退職者 「研究の歩み」と「主な研究業績」

地頭菌 隆
(農林環境科学科 地域環境システム学コース)

研究の歩み

1981 年に鹿児島大学農学部を卒業して工学部助手に採用され、1983 年に農学部配置換え、1991 年助教授、2007 年准教授、2013 年教授となり、43 年が経過しました。また、2011 年に設置した鹿児島大学地域防災教育研究センターのセンター長および学長補佐（防災担当）を 2018 年から 6 年間兼務してきました。

私の専門は土砂災害の予測や対策を研究する砂防学です。表-1 は、43 年間のフィールドノートに基づき、国・県・砂防学会等の調査に参加した主な災害とそこから生まれた防災研究を時系列にまとめたものです。近年の土砂災害をみると、明らかに大規模な土砂移動現象が多発しています。大雨、地震、火山噴火に伴って、これまでに経験したことがない大規模な土砂災害の発生リスクが各地で高まっています。砂防学研究室では、このような社会的背景から大規模土砂災害を引き起こす土砂移動現象の発生場所と発生時期の予測研究に取り組んできました。研究室の学生は、砂防、防災に係わる技術者として災害対応に従事することになります。災害発生後、その原因や発生機構を調査し、緊急対応や復旧対策が求められる仕事です。自然環境を多面的に理解し、そこで生じる様々な自然現象を予測できる能力を培うために、野外での実践的な調査・観測を行い、「地域で学んだことは地域に返す」という姿勢で研究を進めてきました。この姿勢は研究室の先輩から後輩へ受け継がれ、卒業生はその精神をもって社会で活躍しています。また、研究室で取り組んだ災害・防災の研究成果は、地域防災力の向上を図るための提言、住民の防災教育、地方自治体の防災に携わる人材の育成など、幅広く活用されています。

表-1 主な災害調査と防災研究

年	調査した災害, 防災研究
1981	桜島における土石流災害 ⇒ 火山砂防の研究, 火山体の水文現象の研究
1982	長崎大水害
1984	インドネシア・メラピ火山噴火災害
1985	台風 13 号による垂水市等の土砂災害
1986	鹿児島市集中豪雨災害 ⇒ シラス斜面の表層崩壊の予測研究

1989	台風 11 号による垂水市等の土砂災害
1990	阿蘇一の宮町の土砂災害 台風 19 号による瀬戸内町の土砂災害, 台風 20 号による根占町等の土砂災害 雲仙普賢岳噴火災害
1991	台風 19 号による風倒木災害
1992	梅雨前線・台風 10 号による垂水市等の土砂災害
1993	平成 5 年鹿児島豪雨災害 ⇒ 地下水型崩壊の予測研究
1995	阪神・淡路大震災
1997	鹿児島県北西部地震災害 ⇒ 地震による土砂災害研究 出水市針原深層崩壊・土石流災害 ⇒ 深層崩壊の予測研究
1999	広島豪雨災害, 台湾・集集地震災害
2003	水俣市宝川内深層崩壊・土石流災害
2004	新潟県中越地震災害
2005	福岡県西部沖地震災害 台風 14 号による九州山地・鰐塚山の深層崩壊災害
2006	鹿児島県北部豪雨災害
2007	梅雨前線・台風 4 号による大隅半島の土砂災害
2008	岩手・宮城内陸地震災害, 中国・四川地震災害
2009	山口県防府市の土砂災害
2010	南大隅町の深層崩壊・土石流災害, 奄美豪雨災害
2011	霧島新燃岳噴火災害, 東日本大震災 鹿児島大学地域防災教育研究センター設置 紀伊半島大水害
2012	九州北部豪雨災害
2014	広島豪雨災害
2015	口永良部島の火山噴火災害, 垂水市深港の土砂災害
2016	熊本地震災害, 台風 16 号による垂水市の土砂災害
2017	九州北部豪雨災害
2018	大分県耶馬溪町の土砂災害, 西日本豪雨災害
2019	屋久島の大雨災害, 県本土各地の土砂災害
2020	令和 2 年 7 月豪雨災害
2021	諏訪之瀬島の火山噴火災害, 鹿児島県北部豪雨災害
2022	台風 14 号による宮崎県椎葉村等の土砂災害
2023	奄美大島の土砂災害, 九州北部豪雨による久留米市等の土砂災害

主な研究業績一覧（学術論文、著書、特許なども含む）

【学術論文】

- 春山元寿, 地頭菌隆 (1982). 鹿児島県における気象災害による被害の歴史的推移. 応用地質 23(3), 156-168.
- Shimokawa E., Haruyama M. and Jitousono T. (1983). A Type of slope-failures in volcanic areas of Southern Kyushu, Japan. Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 19, 119-128.
- 地頭菌隆, 春山元寿 (1984). 森林の水土保持機能の定量化に関する研究（第1報）試験流域の環境調査. 鹿児島大学農学部演習林報告 12, 25-42.
- 春山元寿, 地頭菌隆, 城本一義 (1984). 桜島における土石流の観測記録. 砂防学会誌 37(2), 22-27.
- 地頭菌隆, 春山元寿 (1985). 森林の水土保持機能の定量化に関する研究（第2報）1983年水文資料による流出解析. 鹿児島大学農学部演習林報告 13, 159-177.
- 下川悦郎, 地頭菌隆, 谷口浩幸 (1986). しらす海食崖における崖くずれの周期性. 鹿児島大学農学部演習林報告 14, 19-31.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 野元俊秀 (1986). 高隈演習林内の森林理水試験流域における水文観測（第1報）高隈第1号試験流域の環境調査と1984年および1985年水文資料解析. 鹿児島大学農学部演習林報告 14, 33-50.
- 下川悦郎, 地頭菌隆 (1987). 桜島における表面侵食による土砂生産. 砂防学会誌 39(6), 11-17.
- 地頭菌隆, 竹下敬司 (1987). 山地河川の流況と流域条件との関係解析Ⅱ. 流域地質が流況に及ぼす影響. 鹿児島大学農学部演習林報告 15, 15-38.
- 春山元寿, 地頭菌隆, 城本一義 (1987). 桜島における土石流の観測記録Ⅱ. 鹿児島大学農学部演習林報告 15, 39-50.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1987). 桜島山腹斜面における表面流出特性. 鹿児島大学農学部演習林報告 15, 51-61.
- 下川悦郎, 地頭菌隆 (1987). 桜島におけるリル・ガリー侵食による土砂生産. 砂防学会誌 40(1), 19-24.
- 下川悦郎, 地頭菌隆 (1987). 火山灰の被覆が火山体の侵食速度に及ぼす影響—桜島火山を中心に— . 地形 8(4), 269-286.
- 地頭菌隆, 竹下敬司 (1988). 山地河川の流況と流域条件との関係解析Ⅲ. 流域の地形・地質と流況の関係. 鹿児島大学農学部演習林報告 16, 61-81.
- Kitamura R., Haruyama M., Jitousono T. and Nakamura J. (1988). Slope stability in volcanic soil based on its mechanical and physico-chemical characteristics. Proc. 5th Int. Symp. Landslides 1, 199-203.
- Shimokawa E., Kitamura R., Jitousono T., Nakamura J. and Joumoto K. (1988). Mechanical and physico-chemical properties of pyroclastic flow deposits, Shirasu, in Japan. Proc. Int. Conf. on Engineering Problems of Regional Soils, China, 689-694.

- Kitamura R., Jitousono T., Jomoto J. and Taguchi H. (1988). A research concerning unsaturated seepage analysis related to slope failure in Kagoshima. *Natural Disaster Science* 10(2), 1-11.
- Jitousono T. and Shimokawa E. (1989). Debris flows in northern flank of Sakurajima volcano. *Proc. Int. Symp. Erosion and Volcanic Debris Flow Technology V24*, 1-20.
- Shimokawa E., Jitousono T., Yazawa A. and Kawagoe R. (1989). An effect of tephra cover on erosion processes of hillslopes in and around Sakurajima volcano. *Proc. Int. Symp. Erosion and Volcanic Debris Flow Technology V32*, 1-35.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1989). 火山灰に覆われた桜島山腹斜面における表面流出. *砂防学会誌* 42(3), 18-23.
- Shimokawa E. and Jitousono T. (1989). Landslide periodicity and prediction of potential landslide sites on Shirasu (Ito pyroclastic flow deposits) steep slopes. *Proc. The Japan-China Symp. on Landslides and Debris Flows*, 283-289.
- 下川悦郎, 地頭菌隆, 高野茂 (1989). しらす台地周辺斜面における崩壊の周期性と発生場の予測. *地形* 10(4), 267-284.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1990). 南九州における火山砕屑物に覆われた森林流域の流出特性. *水文・水資源学会誌* 3(1), 7-16.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1990). 高隈演習林内の第 2 号試験流域における水文観測—1986 年～1988 年の水文資料解析—. *鹿児島大学農学部演習林報告* 18, 43-60.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1991). 桜島における火山活動が土石流・泥流の発生や流出に及ぼす影響. *砂防学会誌* 43(6), 9-15.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1991). 甲突川水系川田川上流の森林流域における水文観測. *鹿児島大学農学部演習林報告* 19, 43-60.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 馬田英隆 (1992). 小流域における治山ダム群が流出に及ぼす影響. *鹿児島大学農学部演習林報告* 20, 213-222.
- Shimokawa E. and Jitousono T. (1993). Field Survey for Debris Flow in Volcanic Area, *Proc. International Workshop on Debris Flow, IAHR*, 101-110.
- 塚本良則, 竹下敬司, 下川悦郎, 谷口義信, 地頭菌隆 (1993). 平成 5 年豪雨による鹿児島県下の土砂災害について. *砂防学会誌* 46(4), 23-35.
- Tsuchiya S., Shimokawa E. and Jitousono T. (1995). Consideration on the occurrence of cliff collapses at south-west area on the mid-slope of Mt. Merapi volcano, Indonesia. *静岡大学農学部演習林報告* 19, 1-10.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 松本舞恵, 加藤昭一, 三浦郁人 (1995). 1993 年鹿児島豪雨による斜面崩壊・土石流の分布と土砂生産. *鹿児島大学農学部演習林報告* 23, 33-54.
- 松本舞恵, 下川悦郎, 地頭菌隆 (1995). 風化花崗岩斜面崩壊跡地における植生の回復過程. *鹿児島大学農学部演習林報告* 23, 55-79.

- Inokura Y., Shibano H., Numamoto S., Shuin Y., Jitousono T. and Shimokawa E. (1996). Effects of catchment factors on direct runoff characteristics in several streams on the southwest slope of Mt. Merapi volcano. *Journal of the Japan Society of Erosion Control Engineering* 48(Special Issue), 37-45.
- Shimokawa E., Jitousono T. and Tsuchiya S. (1996). Sediment yield from the 1984 pyroclastic flow deposit covered hillslopes in Merapi volcano, Indonesia. *Journal of the Japan Society of Erosion Control Engineering* 48(Special Issue), 101-107.
- Jitousono T., Shimokawa E. and Tsuchiya S. (1996). Debris flow following the 1984 eruption with pyroclastic flows in Merapi volcano, Indonesia, *Journal of the Japan Society of Erosion Control Engineering* 48(Special Issue), 109-116.
- Tsuchiya S., Shimokawa E., Jitousono T. and Fukushima Y. (1996). Estimate of river-bed changes on the upper stream of the Bebeng River after pyroclastic flow deposits. *Journal of the Japan Society of Erosion Control Engineering* 48(Special Issue), 129-136.
- 寺本行芳, 地頭菌隆, 下川悦郎, 永田治 (1996). 雲仙普賢岳における土石流・出水の観測. 砂防学会誌 49(3), 28-32.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳, 永田治 (1996). 雲仙普賢岳周辺斜面における火山灰の分布と浸透能. 砂防学会誌 49(3), 33-36.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 三浦郁人, 松本舞恵, 加藤昭一 (1996). 1993年鹿児島豪雨による土砂災害発生と降雨. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 24, 69-87.
- 松本舞恵, 下川悦郎, 地頭菌隆 (1996). 表層崩壊跡地における植生の回復過程. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 24, 105-122.
- 地頭菌隆, 永田治, 寺本行芳, 下川悦郎 (1997). 火砕流堆積物および火山灰に覆われた雲仙普賢岳山腹斜面における表面流出. 砂防学会誌 49(5), 42-48.
- Shimokawa E. and Jitousono T. (1997). Recurrence interval of shallow landslide on forested steep slope in Yakushima Island. *TROPICS* 6(Special Issue), 435-440.
- 土屋 智, 下川悦郎, 石川芳治, 地頭菌隆 (1997). 平成9年3月下旬から4月上旬に発生した鹿児島県北西部地震と斜面崩壊 (速報). 砂防学会誌 50(1), 86-88.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳 (1997). 1997年鹿児島県北西部地震による斜面崩壊. 砂防学会誌 50(2), 82-86.
- 寺本行芳, 地頭菌隆, 下川悦郎, 安養寺信夫 (1997). 雲仙水無川流域における流出土砂量の経年変化. 砂防学会誌 50(3), 35-39.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳 (1997). 桜島における土石流河川の流出特性. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 25, 9-20.
- 寺本行芳, 地頭菌隆, 下川悦郎, 永田治 (1997). 始良カルデラ周辺山地流域における侵食と土砂生産. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 25, 21-33.
- 松本舞恵, 永長美代子, 下川悦郎, 地頭菌隆 (1997). しらす斜面における表層崩壊発生場の予測.

鹿児島大学農学部演習林研究報告 25, 35-44.

- 地頭菌隆, 下川悦郎, 松本舞恵, 寺本行芳 (1998). 1997年鹿児島県北西部地震による斜面崩壊の分布と地形的特性. 砂防学会誌 51(1), 38-45.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (1998). 1997年鹿児島県出水市針原川流域で発生した深層崩壊の水文地形学的検討. 砂防学会誌 51(4), 21-26.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 永田治, 寺本行芳 (1998). 桜島における表面流の観測. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 26, 1-8.
- 松本舞恵, 下川悦郎, 地頭菌隆 (1998). 1997年鹿児島県北西部地震による花崗岩斜面の崩壊の特徴. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 26, 9-21.
- 松本舞恵, 下川悦郎, 地頭菌隆 (1999). 表層崩壊跡地における植生の自然的回復過程. 日本林学会誌 81(1), 65-73.
- 地頭菌隆 (1999). 南九州における最近の土砂災害. 西部地区(九州・沖縄・山口)における自然災害. 自然災害科学 17(4), 309-313.
- Shimokawa E. and Jitousono T. (1999). A Study of the Change from a Landslide to Debris Flow at Harihara, Izumi City, Southern Kyushu. Journal of Natural Disaster Science 20(2), 75-81.
- Ishiguro E., Tabata T., Jitousono T., Teramoto Y., Shoji J. and Kanemasu E.T. (1999). Development of a Hazard Map by Earthquake Using Satellite Data, Proc. 1999 ASAE Annual International Meeting, Paper No.993122, 1-5.
- 松本舞恵, 下川悦郎, 地頭菌隆, 黒木健二 (1999). しらす急斜面の表層崩壊跡地における植生回復と表層土の発達. 砂防学会誌 52(4), 4-12.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 下山和久 (1999). 1938年10月鹿児島県大隅半島南部で発生した土砂災害. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 27, 1-9.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳 (2000). 南九州の火山地域における崩壊の水文地形学的検討. 地すべり 36(4), 14-21.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳 (2000). 屋久島土面川流域の降雨・流出特性. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 28, 13-25.
- 石黒悦爾, 地頭菌隆, 寺本行芳. 地震による斜面崩壊ハザードマップ, 自然災害防止・軽減のためのリモートセンシング技術の可能性 (2001). 自然災害科学 20(2), 141-143.
- 寺本行芳, 地頭菌隆, 下川悦郎, 古賀省三 (2002). 雲仙普賢岳における土石流発生降雨条件と流出特性の経年変化. 砂防学会誌 54(5), 50-54.
- Matsumoto M., Shimokawa E., Jitousono T. and Teramoto Y. (2002). Revegetation Process and Topsoil Development on Shallow Landslide Scars, and Prediction of Potential Shallow Landslide Sites. International Congress Interpraevent 2002 in the Pacific Rim - Matsumoto/ Japan Congress publication 2, 883-892.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳 (2002). シラス地域の水文地形とシラス斜面崖錐部の崩壊. 地形

23(4), 611-626.

- 地頭菌隆, 下川悦郎, 車張堅, 王文能 (2002). 1999年集集台湾地震後の土砂災害の推移と地形変化—清水溪上流を例にして—. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 30, 9-18.
- 寺本行芳, 地頭菌隆, 下川悦郎 (2002). 雲仙普賢岳赤松谷川流域で1999年9月11日に発生した土石流の流動特性. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 30, 19-25.
- 寺本行芳, 下川悦郎, 地頭菌隆 (2003). 雲仙普賢岳水無川流域における土石流の流出過程の経年変化. 砂防学会誌 56(3), 3-11.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 迫 正敏, 寺本行芳 (2004). 鹿児島県出水市針原川流域の水文地形的特性と深層崩壊. 砂防学会誌 56(5), 15-26.
- 寺本行芳, 下川悦郎, 田中信, 地頭菌隆, 稲元崇裕 (2004). 桜島の荒廃斜面における表面侵食による土砂流出と植生の影響. 砂防学会誌 57(1), 3-12.
- 寺本行芳, 下川悦郎, 地頭菌隆 (2004). 雲仙普賢岳湯江川流域における侵食および土砂流出過程. 砂防学会誌 57(4), 15-25.
- 寺本行芳, 下川悦郎, 地頭菌隆 (2005). 桜島における噴火活動の違いが表面侵食による侵食速度に及ぼす影響. 砂防学会誌 57(5), 65-68.
- 久保田哲也, 大村寛, 海堀正博, 清水収, 地頭菌隆, 落合博貴, 内田太郎, 石井靖雄, 安田勇次 (2005). 2005年3月20日福岡県西方沖地震による土砂災害に関する調査報告. 砂防学会誌 58(2), 32-37.
- 谷口義信, 内田太郎, 大村寛, 落合博貴, 海堀正博, 久保田哲也, 笹原克夫, 地頭菌隆, 清水収, 下川悦郎, 寺田秀樹, 寺本行芳, 日浦啓全, 吉田真也 (2005). 2005年9月台風14号による土砂災害. 砂防学会誌 58(4), 44-51.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳 (2006). 深層崩壊発生場予測法の提案—鹿児島県出水市矢筈岳山体を例にして—. 砂防学会誌 59(2), 5-12.
- Teramoto Y., Shimokawa E. and Jitousono T. (2006). Effects of volcanic ash on the runoff process in Sakurajima Volcano, Proceedings of the INTERPRAEVENT International Symposium Disaster Mitigation of Debris Flows, Slope Failures and Landslides 1, 303-310.
- 清水収, 地頭菌隆 (2008). 2006年7月豪雨による九州南部の土砂災害. 砂防学会誌 60(5), 60-65.
- Jitousono T., Shimokawa E. and Teramoto Y. (2008). Debris Flow Induced by Deep-Seated Landslides at Minamata City, Kumamoto Prefecture, Japan in 2003. International Journal of Erosion Control Engineering 1(1), 5-10.
- 古川浩平, 海堀正博, 久保田哲也, 地頭菌隆, 権田豊, 杉原成満, 林真一郎, 池田暁彦, 荒木義則, 柏原佳明 (2009). 2009年7月21日山口県防府市での土砂災害緊急調査報告. 砂防学会誌 62(3), 62-73.
- 地頭菌隆, 下川悦郎, 寺本行芳, 馬田英隆, 井倉洋二 (2009). 鹿児島大学高隈演習林の森林流域における25年間の流況変化. 鹿児島大学農学部演習林研究報告 37, 115-127.

- 下川悦郎, 小山内信智, 武澤永純, 地頭菌隆, 寺本行芳, 権田豊 (2010). 2010 年 (平成 22 年) 7 月鹿児島県南大隅町で発生した連続土石流災害. 砂防学会誌 63(3), 50-53.
- Akther H., Shimokawa E., Teramoto Y. and Jitousono T. (2011). Geomorphological features and prediction of potential sites for deep-seated landslides on Wanitsuka Mountain, Miyazaki Prefecture, Japan. 砂防学会誌 63(5), 14-21.
- 清水収, 地頭菌隆, 下川悦郎, 山越隆雄, 木佐洋志, 瀧口茂隆, 杉山光徳 (2011). 霧島山新燃岳の 2011 年 1 月噴火による降灰とその後の土砂移動. 砂防学会誌 64(3), 46-56.
- 地頭菌隆 (2012). 深層崩壊 (その 1) —九州で発生した深層崩壊の事例—. 斜面防災技術 39(1), 26-37.
- 久保田哲也, 地頭菌隆, 清水収, 平川泰之, 本田健, 飯島康夫, 泉山寛明, 海堀正博, 北原哲郎, 小林浩, 松本俊雄, 松尾新二郎, 松澤真, 宮縁育夫, 長野英次, 中濃耕司, 奥山悠木, 島田徹, 篠原慶規, 杉原成満, 武澤永純, 田中信, 内田太郎 (2012). 平成 24 年 7 月九州北部豪雨による阿蘇地域の土砂災害. 砂防学会誌 65(4), 50-61.
- 地頭菌隆 (2012). 深層崩壊 (その 2) —深層崩壊発生予測の研究—. 斜面防災技術 39(2), 23-32.
- 地頭菌隆 (2013). 大規模土砂災害を引き起こす深層崩壊および火山噴火対応の研究・技術開発. 河川 69(6), 8-11.
- 地頭菌隆 (2013). 深層崩壊の特徴と発生場の予測—九州を例にして—. 地盤工学会誌 61(9), 6-9.
- 地頭菌隆, 石塚忠範, 能和幸範, 柳町年輝 (2014). 深層崩壊警戒対応の湧水センサーの開発. 砂防学会誌 66(5), 49-52.
- 小杉賢一朗, 三道義己, 藤本将光, 山川陽祐, 正岡直也, 水山高久, 平松晋也, 福山泰治郎, 地頭菌隆 (2014). 関数モデルを用いた深層崩壊の要因となる基岩地下水位変動の解析. 砂防学会誌 66(6), 3-14.
- 地頭菌隆 (2014). 渓流水の電気伝導度を用いた深層崩壊発生場の予測. 砂防学会誌 66(6), 56-59.
- 地頭菌隆 (2015). 深層崩壊とは. 土木学会誌 100(8), 10-13.
- 地頭菌隆 (2015). 深層崩壊の前兆を捉える—渓流水・湧水を活用した発生場予測と警戒避難対応—. 土木学会誌 100(8), 28-29.
- 石川芳治, 久保田哲也, 青戸一峰, 飯島康夫, 井川寿之, 池上忠, 池田誠, 植弘隆, 上原祐治, 内村雄一, 江川佳苗, 大石博之, 岡野和行, 海堀正博, 桂真也, 加藤誠章, 川原慎一郎, 古賀省三, 坂島俊彦, 相楽渉, 地頭菌隆, 篠原慶規, 清水収, 下田義文, 鈴木滋, 鈴木正美, 瀬戸康平, 田方智, 寺田秀樹, 寺本行芳, 堂ノ脇将光, 飛岡啓之, 鳥田英司, 中濃耕司, 西川友章, 花田良太, 平川泰之, 福塚康三郎, 藤澤康弘, 藤田正治, 正木光一, 宮田直樹, 山口和也, 山下伸太郎, 山根誠, 横尾公博 (2016). 平成 28 年熊本地震による土砂災害. 砂防学会誌 69(3), 55-66.
- 石川芳治, 赤澤史顕, 植弘隆, 大野宏之, 小山内信智, 海堀正博, 久保田哲也, 古賀省三, 権田豊, 坂島俊彦, 地頭菌隆, 清水収, 武士俊也, 樽角晃, 鳥田英司, 中濃耕司, 西真佐人, 野呂智之, 平川泰之, 平松晋也, 藤田正治, 松尾新二郎, 山田孝 (2016). 平成 28 年熊本地震後の降雨に

よる二次土砂移動と二次土砂災害．砂防学会誌 69(4), 25-36.

- 地頭菌隆 (2017). 霧島火山地域における土砂災害, 地形 38(1), 41-53.
- 丸谷知己, 海堀正博, 地頭菌隆, 水野秀明, 大野宏之, 清水収, 久保田哲也, 植弘隆, 金澤瑛, 河野貴則, 古賀省三, 小林央宜, 小林拓也, 坂島俊彦, 酒谷幸彦, 相楽渉, 篠原慶規, 鈴木大和, 高木将行, 鳥田英司, 中濃耕司, 藤澤康弘, 山口和也, 山田勇智 (2017). 2017年7月の九州北部豪雨による土砂災害. 砂防学会誌 70(4), 31-42.
- 地頭菌隆 (2018). 最近の土砂災害の特徴と防災研究. 一般社団法人日本応用地質学会九州支部・九州応用地質学会会報 39, 2-7.
- 久保田哲也, 地頭菌隆, 長井義樹, 清水収, 水野秀明, 野村康裕, 鈴木大和, 山越隆雄, 厚井高志, 大石博之, 平川泰之 (2018). 2018年4月11日大分県中津市耶馬溪町で発生した斜面崩壊. 砂防学会誌 71(2), 34-41.
- 海堀正博, 長谷川祐治, 山下祐一, 崎田博史, 中井真司, 桑田志保, 平松晋也, 地頭菌隆, 井良沢道也, 清水収, 今泉文寿, 中谷加奈, 柏原佳明, 加藤誠章, 鳥田英司, 平川泰之, 吉永子規, 田中健路, 林拙郎 (2018). 平成30年7月豪雨により広島県で発生した土砂災害. 砂防学会誌 71(4), 49-60.
- 地頭菌隆 (2019). 近年の大規模土砂災害と防災研究. 第81回全国都市問題会議文献集, 129-135.
- 地頭菌隆, 伊倉万理, 植弘隆, 大石博之, 垣本毅, 木藤賢一, 古賀省三, 坂井佑介, 坂島俊彦, 篠原慶規, 清水収, 田方智, 寺本行芳, 鳥田英司, 永谷直昌, 中濃耕司, 西脇彩人, 平川泰之, 福塚康三郎, 水野秀明 (2021). 令和2年7月豪雨による熊本県の土砂災害. 砂防学会誌 73(4), 41-50.
- 地頭菌隆 (2021). 地域防災と人材育成に貢献する大学の役割. 砂防と治水 54(5), 17-19.
- JITOUSONO T. et al. (2021). The July 2020 Rainfall-Induced Sediment Disasters in Kumamoto Prefecture, Japan. International Journal of Erosion Control Engineering 13(4), 76-83.
- 清水収, 地頭菌隆, 執印康裕, 水野秀明, 秋田寛己, 天野祐一朗, 植弘隆, 大石博之, 岡野和行, 小野貴稔, 影山大輔, 加藤卓也, 菊池英明, 木藤賢一, 木原早紀, 佐藤厚慈, 篠原慶規, 田方智, 竹林洋史, 千葉幹, 鳥田英司, 中濃耕司, 西脇彩人, 平川泰之, 福池孝記, 福塚康三郎, 本田健, 本多泰章, 光永海斗, 山越隆雄, 矢渡岳, 吉永子規, 吉野孝彦 (2023). 2023年7月の大雨により福岡県久留米市と佐賀県唐津市で発生した土砂災害. 砂防学会誌 76(4), 33-43.
- 地頭菌隆 (2024). 渓流水・湧水を活用した土砂災害予測の研究. (一財)砂防・地すべり技術センター機関誌 sabo 135, 2-7.

【著書】

- 地頭菌隆, 下川悦郎, 板垣治, 古賀省三, 松本舞恵, 三浦郁人, 加藤昭一 (1995). 鹿児島県中部域の地盤災害 (8.1 災害), pp. 55-68, 地頭菌隆, 下川悦郎 (1995). 垂水市域の地盤災害 (8.9 災害, 9.3 災害), pp. 95-111, 地頭菌隆, 下川悦郎, 古賀省三, 板垣治 (1995). 鹿児島県日吉町の土砂災害 (9.20 災害), 1993 年鹿児島豪雨災害—繰り返される災害—, pp. 135-139, (社) 土質工学会, 東京.
- 下川悦郎, 地頭菌隆 (1996). 植生を用いた崩壊発生周期の研究, 水文地形学—山地の水循環と地形変化の相互作用—, pp.190-197, 古今書院, 東京.
- Shimokawa E. and Jitousono T. (1997). Field Survey for Debris Flow in Volcanic Area, Lecture Notes in Earth Sciences, Recent Developments on Debris Flows, Chapter 1. Observation and Measurement for Debris Flow, pp.46-63, Springer.
- 地頭菌隆, 下川悦郎 (2000). 鹿児島県北西部地震, 地震砂防, pp.88-98, 古今書院, 東京.
- 北村良介, 西隆一郎, 地頭菌隆 (2004). 赤土・サンゴ礁海浜・水循環, 奄美と開発, pp.267-288, 南方新社, 鹿児島.
- 下川悦郎, 地頭菌隆 (2006). 地表動態と土砂災害, 世界遺産 屋久島—亜熱帯の自然と生態系—, pp.28-35, 朝倉書店, 東京.
- 地頭菌隆 (2019). 渓流水・湧水から土砂災害を予測する, 鹿児島の水を追いかけて, pp.64-82, 南方新社, 鹿児島.
- 地頭菌隆 (2019). 火山活動と土砂災害, 砂防学, pp.160-169, 朝倉書店, 東京.
- 地頭菌隆 (2020). 1993 年鹿児島県土石流災害 <シラス台地周辺の大規模な土砂災害はどのようにしておこるのか>, 砂防の観測の現場を訪ねて 1～土砂災害を知るための観測～, pp.13-23, 公益社団法人砂防学会, 東京.